

工事の進捗の影響

■七北田川と潟湖の分断

今回の調査では、堤防工事が進み河口へ入ることができなかった。Fig.1は工事現場の写真であるが、工事の進捗により七北田川と潟湖のつながりは1カ所のみとなっており(Fig.2)、生物の出入りが難しくなっている可能性がある。

14日は大潮で気象庁HPによると干潮(10:37)の潮位は0cmである。調査した時間は13:00頃であるが潟湖の面積はかなり小さく(Fig.3)、この姿が蒲生干潟の水面が最も小さくなった姿であろう。Fig.4は7月21日13:30頃の画像であるが、Fig.3と比較して80cm程度潮位が高い状態と思われる。

河口での採集はできず、潟湖内でのみイシガレイの採集を試みた。採集できた個体はFig.5の1匹のみである。この個体は生命の星・地球博物館の瀬能宏氏に同定していただいたところ「イシガレイとヌマガレイの交雑個体の可能性が高い」とのご指摘をいただいた。このご指摘から、レポート170号のFig.4の個体も交雑個体の可能性が高く、七北田川との出入りが難しいことを考えると同一個体の可能性もある。



(Fig.1 河口の工事の様子)



(Fig.2 七北田川との接続部 7月21日撮影)



(Fig.3 2018.7.14 蒲生干潟全景 5枚の写真から合成)



(Fig.4 2018.7.21 蒲生干潟全景 4枚の写真から合成)



Fig.5 イシガレイとヌマガレイの交雑個体の可能性がある。また、レポート170号のFig.4の個体も交雑個体の可能性が高く、この個体と同一個体の可能性もある。